兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級

わかくさ

R3.9.16
発行
第381号

2学期が始まりました！

皆さん、こんにちは。学校長の川口です。日頃より、本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この夏は、前半あり得ない暑さが続きましたが、半ばから後半にかけて、長雨・大雨が続きました。九州や西日本、長野県などにも被害が出ています。被害を受けられた方々には、心からお見舞い申し上げます。毎年のように「これまでにない」災害に見舞われ、やり場のない感情が込み上げてきます。それでも、私たちは子どもたちの今を、そして未来を豊かにするため、日々努力を重ね、できることを精一杯やっていくしかないと思っています。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大が止まらない中、2学期が始まりました。今年は、年度当初から「学びを止めない」を合言葉に、決められた感染防止対策をしっかりと遵守し、職員一人一人も行動制限を意識しながら過ごしています。また授業も短い時間ではありますが、病院からもご配慮いただき、何とか続けることができています。その方法も個別を基本としながらも、お友達が意識できるような工夫もさせていただいていると聞いています。これもそれぞれができることを精一杯していただいていることに他ならないと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。2学期がスタートするにあたり、児童生徒には少しずつ興味関心を広げられるよう、チャレンジしてみようと話しました。すべては感染拡大状況を見ながらですが、秋を感じ、冬へと移り行く季節を感じながら、自分なりの心の広がりに気づいてくれたらという思いを一つにして、職員一同、張り切って準備しているところです。また、12月には昨年度から延期していました「40周年記念式典」を実施します。稲美町にある本校の方で式典を行いますが、あおの訪問学級のことも紹介し、ともに歩んだ40年を振り返りたいと思います。コロナ禍の中、規模縮小での実施となりますが、思いを馳せていただければ、幸いです。

今学期も大変お世話になります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

兵庫県立いなみ野特別支援学校長　川口あづさ

東2病棟

暑い時期が続いていますが、東２の児童生徒は元気に楽しく授業に取り組むことができました。７月はイベントが盛りだくさんだったので、児童生徒もワクワクしながら授業に参加していました。七夕では歌ったり飾りを作ったり、お願い事を短冊に書いたりして楽しみました。他にも、満開になった朝顔と向日葵を見ながら外で水を使った学習をしたり、デイルームで夏祭りのゲームを浴衣を着て楽しんだりしていたので、良い思い出がたくさんできたようです。

東3病棟

７月は、七夕、キャンプ、夏祭りの学習等をしました。笹飾りや星、海の生き物や魚釣り、花火や盆踊り、ヨーヨー釣りや金魚すくい、スイカ割りや朝顔の観察等、たくさんのことを学びました。また、修学旅行の疑似体験で、船のアトラクションと音のアトラクションを経験した児童もいました。手や腕を動かして制作したりを操作し

たりして、持っている力を発揮できた児童もいました。真剣な表情や穏やかな表情、嬉しそうな表情や笑顔が見られ、それぞれの方法で、自分の内面を表出できたように思います。

西2病棟

西２では海、南の島、七夕、夏祭りをテーマに学習しました。海の歌に合わせて、オーシャンドラムを鳴らしたり、フエルト製の海辺の生き物を見たり触ったりしました。南の島の学習では、衣装を着けてダンスを踊りました。夏祭りの学習では、おばけ退治ゲームやボールすくいを楽しみ、たこ焼き（フエルト製）を焼いてお祭り気分を味わいました。高３生は、「兵庫を知ろう」というテーマで、但馬に修学旅行（疑似）に行きました。浴衣を着ての外湯巡り（手浴）や陶芸、水族館でのイルカショーを笑顔で楽しむことができました。

西3病棟

西３では、撮影した朝顔や向日葵の花を見たり、セミの鳴き声を聞いたりして夏の雰囲気を感じました。また、七夕、夏祭り、海にちなんだ歌、映像、体験では、瞳をキラキラ輝かせていました。高３と小６の卒業生２人は、個々に修学旅行の疑似体験をしました。飛行機に乗って、ディズニーランド・シーに早変わりした教室や病棟で旅行気分を味わいました。「ミッキーマウスマーチ」に合わせてウッドブロックの演奏をし、シンデレラ城やポップコーン売り場前で記念写真を撮り、イルミネーションや花火、海の映像やタッチ体験等を楽しみました。